

PRTG Network Monitor – リモートプローブのインストール

この資料では、PRTG Network Monitor のリモートプローブのインストールについて説明します。

情報源

この資料の情報源は以下のとおりです：

メーカーマニュアル：PRTG Manual: Install a Remote Probe

https://www.paessler.com/manuals/prtg/install_a_remote_probe

本資料は Paessler AG 作成の資料/ナレッジベースをジュピターテクノロジー株式会社（以下当社と略記）が独自で翻訳したものです。ベストエフォートの翻訳であるため、最新情報ではない可能性があります。最新情報は情報源をご確認ください。

リモートプローブのインストール

リモートプローブは PRTG の監視を拡張することができます。

- ・ リモートプローブを使用すると、PRTG コアサーバーからファイアウォールで分離された異なるサブネットワークの監視や遠隔地監視をすることができます。複数の [リモートプローブ](#) をインストールすることができます。
- ・ リモートプローブは監視負荷の分散に役立ちます。PRTG コアサーバーシステムの監視負荷を複数のリモートプローブシステムに分散できます。
- ・ PRTG Hosted Monitor でローカルネットワークを監視する場合、リモートプローブが必要です。
- ① PRTG は自動でリモートプローブをアップデートしますが、まれに手動でアップデートが必要な場合があります。この場合は [ToDo チケット](#) が発行されます。リモートプローブを手動でアップデートする手順はこちら [【文書内リンク】](#) です。
- ① PRTG のクラスター機能を使用している場合は、[クラスターと LAN 外のリモートプローブ](#) をご覧ください。
 - インストール後に問題が発生した場合は、[リモートプローブ接続に関する問題のデバッグ](#) をご覧ください。
 - PRTG Web インターフェイスのデバイスツリーからリモートプローブを一部自動インストール

ルする場合は「[Remote Probe Setup via Device Tools](#)」をごらんください。かんたんなインストールガイドは Paessler の Web サイト「[How to install a PRTG remote probe in 4 steps](#)」をご覧ください。

手順

リモートプローブインストーラーを使用してリモートプローブをインストールするには、以下の手順に従います。

- ・ [ステップ 1：要件の確認](#)
- ・ [ステップ 2：PRTG コアサーバーの準備](#) (PRTG Network Monitor の場合はこのステップから)
- ・ [ステップ 3：PRTG Web インターフェイスからリモートプローブインストーラーをダウンロード](#) (PRTG Hosted Monitor の場合はこのステップから)
- ・ [ステップ 4：新しいリモートプローブをインストール](#)
- ・ [ステップ 5：新しいリモート プローブを承認](#)

ステップ 1：要件の確認

ターゲットシステムにリモートプローブをインストールするには、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ・ ターゲットシステムが少なくとも Windows 7 以降で動作している。
- ・ ターゲットシステムに RPC (remote procedure call) でアクセスできる。一般的に PRTG コアサーバーとターゲットシステムが同じ LAN セグメントに配置されている場合はアクセスできます。それ以外の場合はターゲットシステムで Windows の「services.msc」を開き、RPC サービスを開始します。
- ・ プログラムは Windows ファイアウォールで通信が許可されている。ファイアウォールの設定を開き、「ファイアウォールによるアプリケーションの許可」を選択します。「リモートサービス管理」のチェックボックスをオンにし、対応する行のチェックボックス [パブリック] をオンにします。
- ・ プローブの接続開始のために、外部から PRTG コアサーバーへの接続が確立できることの確認が必要です。これは PRTG コアサーバーの PRTG Web サーバーのポート 80 または 443 へのアクセスを許可する場合と同様です。ほとんどの場合、プローブが TCP (Transmission Control Protocol) ポート 23560 経由で PRTG コアサーバーに到達できるようにする許可や、NAT (Network Address Translation) 許可ルールが必要になります。その際、プローブは送信接続にハイポート範囲 (49152~65535) の動的ポートを使用します。
- 別のポートを設定する必要がある場合 (非推奨) は次のナレッジベースを参照してください。
[How can I customize ports for core-probe connections used by PRTG?](#)

- ① PRTG Network Monitor および PRTG Hosted Monitor の PRTG コアサーバーにはローカルプローブ、ホステッドプローブがすでに含まれています。そのため、PRTG コアサーバーシステムにリモートプローブを追加インストールすることはできません。

リモートプローブの詳細な要件については[システム要件](#)を参照してください。

ステップ 2 : PRTG コアサーバーの準備

PRTG Hosted Monitor を使用する場合は、[ステップ 3 : PRTG Web インターフェイスからリモートプローブインストーラーをダウンロードする](#)から始めることができます。

- ① リモートプローブは PRTG コアサーバーに接続する必要があり、PRTG はリモートプローブの接続を受け入れる必要があります。そのため、PRTG Network Monitor ではリモートプローブをインストールする前に、まず PRTG コアサーバーを準備します。

「コア & プローブ」セクションで関連する設定を編集します。PRTG Web インターフェイスのメインメニュー | 設定 | システム管理 | コア & プローブを選択して、「プローブ接続の設定」に移動します。

プローブ接続の設定

プローブ接続 IP アドレス ローカルプローブのみ、127.0.0.1 (リモートプローブから PRTG にはアクセスできません)
 このコンピューターで利用可能なすべての IP アドレス
 IP アドレスの指定

アクセスキー

許可する IP アドレス

拒否する IP アドレス

接続を拒否する GUID

接続セキュリティ 高セキュリティ (TLS 1.3、TLS 1.2)
 デフォルトセキュリティ (TLS 1.3、TLS 1.2) (推奨)
 低セキュリティ (TLS 1.3、TLS 1.2、TLS 1.1、TLS 1.0)

ミニプローブ ミニプローブを許可しない
 ミニプローブの PRTG ウェブサーバーへの接続を許可
 ミニプローブの他のポートへの接続を許可

Probe Transfer Disable (default)
 Enable

システム管理 | プローブ接続の設定

ステップ 2.1 : 「プローブ接続 IP アドレス」の設定

デフォルトでは、PRTG コアサーバーはローカルプローブ (IP アドレス 127.0.0.1) からの接続のみを受け付けます。この設定は最も安全な設定ですが、リモートプローブが PRTG コアサーバーへ接続することは許可されていません。

リモートプローブを許可するには、次のいずれかの設定を選択します。

- ・ 「このコンピューターで利用可能なすべての IP アドレス」：PRTG コアサーバーシステム上のすべての IP アドレスがプローブ受信接続を受け付けます。
- ・ 「IP アドレスの指定」：受信接続を受け入れる IP アドレスを指定します。

ステップ 2.2：「許可する IP アドレス」の設定

「許可する IP アドレス」フィールドにリモートプローブをインストールするシステムの IP アドレスを入力します。「any」を入力することもできます。「any」を入力すると、PRTG コアサーバーはすべての IP アドレスからのリモートプローブ接続を受け入れます。

- ① 「any」を使用する場合は、小文字のみで入力してください。他の入力形式は無効です。

その他の設定は必須ではありません。「アクセスキー」、「拒否する IP アドレス」、「接続を拒否する GID」の詳細は[こちら](#)を参照してください。

設定が完了したら、「保存」をクリックして設定を保存します。

- ① この設定を変更すると、変更の適用のために PRTG コアサーバーを再起動する必要があります。「保存」をクリックすると、再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックして再起動を開始します。再起動中は PRTG Web インターフェイス、デスクトップ用 PRTG アプリ、モバイル PRTG アプリのすべてのユーザーが切断され、再び接続されます。
- ① 「コア&プローブ」の接続設定は PRTG コアサーバーの PRTG Administration Tool で設定することもできます。

クラスターと LAN 外のリモートプローブ

- ① PRTG をクラスターとして実行し、かつ、ローカルネットワークの外部でリモートプローブを実行する場合は、クラスターノード（とそれらが使用するアドレス）が外部からアクセス可能であることを確認します。ローカルネットワーク外にリモートプローブをインストールする前に、クラスター設定でクラスターノードの設定を確認してください。クラスターノード同士が互いにアクセスでき、かつ、リモートプローブがすべてのクラスターノードにそれぞれアクセスできる有効なドメイン（DNS）名または IP アドレスを設定します。クラスターノードがローカルアドレスを使用している場合、LAN 外のリモートプローブはクラスターノードにアクセスできません。

LAN 外にすでにリモートプローブをインストールしており、上記の理由でリモートプローブが切断されている場合は次の手順に従います。

1. リモートプローブをアンインストールします。
2. LAN 外からアクセス可能なアドレスで[クラスターノードの設定](#)を更新します。
3. PRTG コアサーバーを再起動します。
4. リモートプローブを再度インストールし、アクセス可能な IP アドレスまたは DNS 名のエントリーを取得します。

マニュアル「[Failover Cluster Configuration](#)」の「Remote Probes in a Cluster」も参照してください。

ステップ3：PRTG Web インターフェイスからリモートプローブインストーラーをダウンロード

1. リモートプローブをインストールするコンピューターで、PRTG Web インターフェイスにログインします。
2. メインメニューバーで「設定 | ダウンロード (オプション) | リモートプローブインストーラー」を選択します。
3. 「リモートプローブの追加」をクリックして、インストールアシスタントを開始します。
※デバイスツリーの「リモートプローブの追加」ボタンでも開始できます。
4. インストールが完了するまで待ちます。リモートプローブが自動的に PRTG コアサーバーに接続します。
5. 表示されるダイアログウィンドウで、[準備してダウンロードする]をクリックしてダウンロードを開始します。
6. セットアッププログラムをローカルディスクに保存します。

アシスタントを使用したインストール方法では、PRTG がインストールプロセスをガイドします。「リモートプローブインストーラーを直接ダウンロード」の場合は、アシスタントを使用せずにリモートプローブをインストールする必要があります

- リモートプローブを PRTG Network Monitor に接続する場合は、最初に「プローブ接続の設定」を設定します。

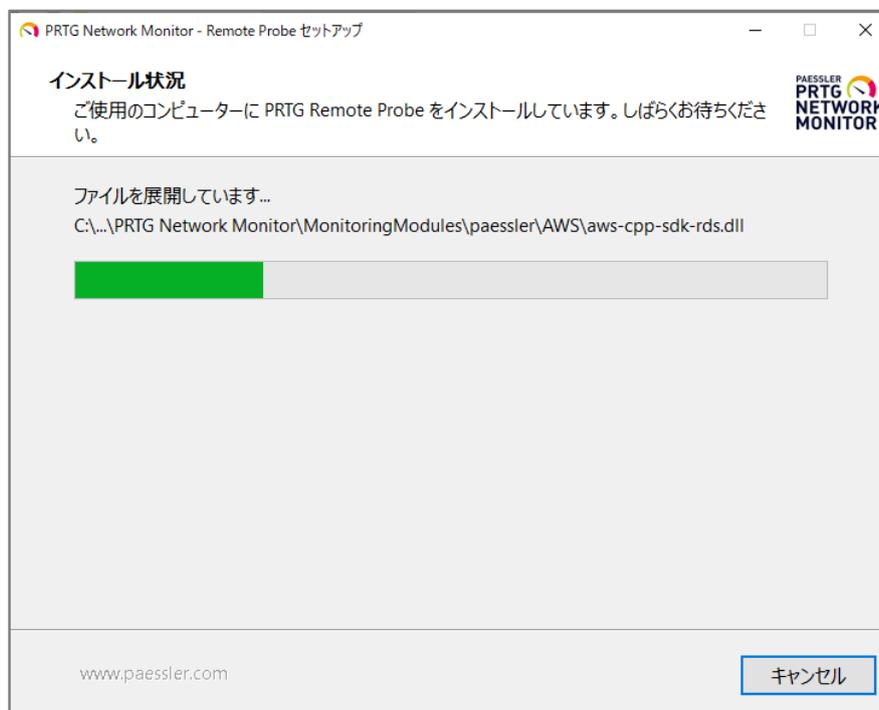


リモートプローブの追加アシスタント

- ① PRTG コアサーバーサービスと PRTG プロブサービスの PRTG バージョンは一致している必要があります。PRTG コアサーバーに新しいバージョンをインストールすると、PRTG はリモートプロブを自動的に更新します。PRTG からリモートプロブを手動で更新するように注意があった場合、リモートコンピューターで Web ブラウザを開き、このセクションで説明したリモートプロブのインストーラーをダウンロードします。

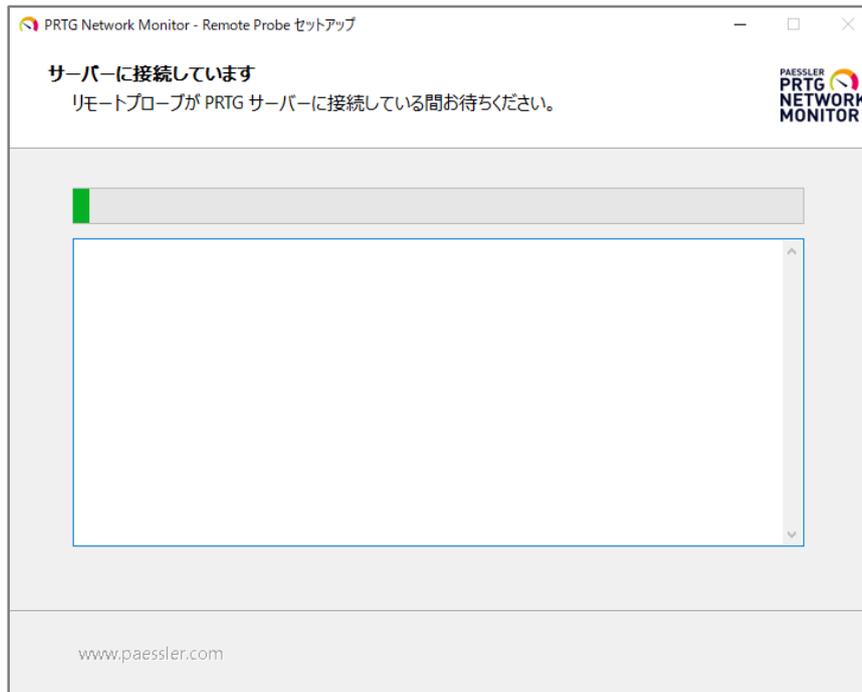
ステップ 4：新しいリモートプロブをインストール

1. ダウンロードしたセットアッププログラムを実行します。
2. Windows のユーザーアカウント制御ダイアログが表示されたら、「はい」でインストールを許可します。通常のソフトウェアインストールウィザードに従って、インストールプロセスを進めます。
3. 「インストール」をクリックしてインストールを開始します。



リモートプロブのインストール中

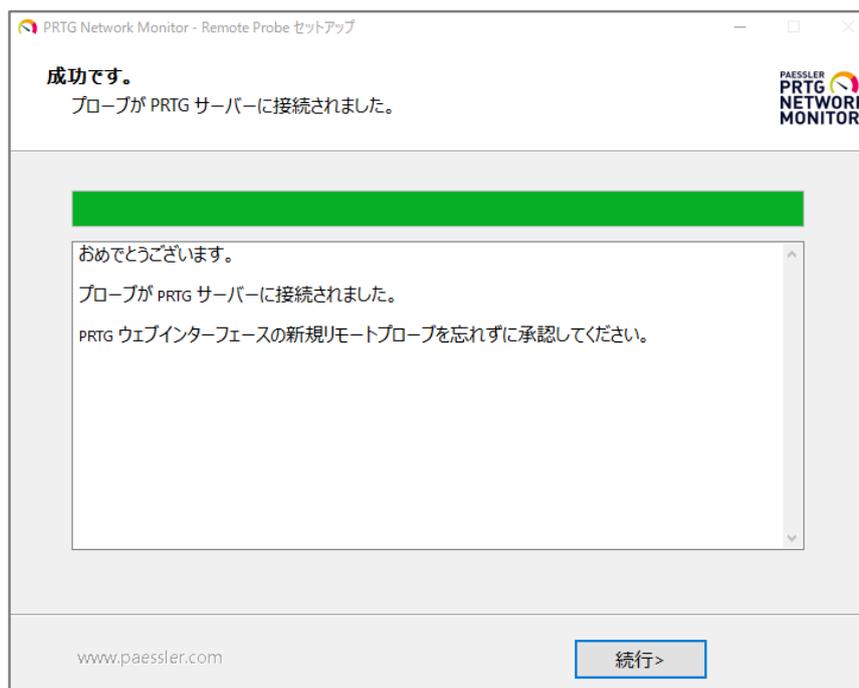
インストールが完了するまで待ちます。リモートプロブが自動的に PRTG コアサーバーに接続します。



PRTG コアサーバーへ接続中

リモートプローブが PRTG コアサーバーに正常に接続したら、新しいリモートプローブのセットアップを完了できます。

- ① 新しいリモートプローブが PRTG Hosted Monitor インスタンスに接続できるようにするために、PRTG は「コア & プローブ」設定の「許可する IP アドレス」フィールドに自動的に「any」を設定します。PRTG Network Monitor でも「any」を使用できますが、この設定はイントラネットでのみ使用することをお勧めします。「any」を使用しない場合は、「許可する IP アドレス」フィールドで「any」の代わりにリモートプローブの IP アドレスを入力します。



4. 「続行」をクリックして、リモートプローブのインストールを終了します。
5. 「完了」をクリックして、インストールウィザードを終了します。

これでリモートプローブが Windows サービスとしてコンピューターにインストールされました。

ステップ5：新しいリモート プローブを承認

インストールアシスタントで、「インストール完了」をクリックします。



インストールの完了を確認する

PRTG Hosted Monitor リモートプローブのインストールに成功すると、以下のダイアログボックスが表示されます。



リモートプローブを承認

「承認と自動検出」をクリックして、新しいリモートプローブとネットワークをデバイスツリーに追加し、自動検出を開始します。デバイスが検出し、適切なセンサーを自動的に作成します。自動検出を行わずにリモートプローブのみを承認する場合は、「承認」をクリックします。リモートプローブがデバイスツリーに表示されます。

不要なリモートプローブ接続の場合は、「キャンセル」をクリックします。右下に新しいウィンドウが表示されます。



リモートプローブを拒否することもできる

新しいリモートプローブを拒否するには、「拒否」をクリックします。

- ① リモートプローブを拒否または削除すると、PRTG は自動的にこのデバイスのグローバル ID (GID) を「コア & プローブ」の「接続を拒否する GID」リストに追加します。PRTG は、このデバイスからのリモートプローブ接続を今後も自動的に拒否します。
- ① デバイスツリーでリモートプローブを拒否しても、リモートプローブはアンインストールされず、PRTG コアサーバーへのアクセスが拒否されるだけです。リモートプローブは手動でアンインストールするまでインストールしたシステム上で実行され続けます。

承認すると、PRTG は自動的に新しいリモートプローブをデバイスツリーに展開し、リモートプローブシステムのボトルネックをすぐに検知するためのリモートプローブ用センサーを作成します。これらのセンサーを削除しないことをお勧めします。これで、新しいリモートプローブで監視するグループ、デバイス、センサーを作成できるようになりました。

- ① アップデート後にリモートプローブを承認する必要はありません。

新しいリモートプローブがコアサーバーに初めて接続すると、ToDo チケットが新しく発行されます。

リモートプローブ接続に関する問題のデバッグ

PRTG コアサーバーとリモートプローブ間の接続に問題がある場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください：

- ・ Windows ファイアウォールの設定など、このセクションの[ステップ 1](#)で説明されているすべての要件を満たしているかどうかを再確認します。

- ・ リモートプローブをインストールするコンピューターの IP アドレスが、「コア & プローブ」設定の「拒否する IP アドレス」フィールドにリストされていないことを確認します。
- ・ リモートプローブのログファイルを見ることもできます。プローブプロセスは、「PRTG Probe Log (x).log」という形式のファイル名でログファイルを書き込みます。最新の日付のものを開きます。

正しく接続されている場合、ログは以下のようになります：

```

11/6/2017 1:21:58 PM PRTG Probe V17.4.36.3253
11/6/2017 1:21:58 PM System time zone: (UTC+01:00) Amsterdam, Berlin, Bern, Rome, Stockholm, Vienna
11/6/2017 1:21:58 PM libeay32.dll=1.0.2.11
11/6/2017 1:21:58 PM ssleay32.dll=1.0.2.11
11/6/2017 1:21:58 PM PRTG Probe "example-DNS" starting on "example-DNS" (GID={AAAA1111-22BB-33CC-DD44-EEEEEE555555})
11/6/2017 1:21:58 PM Memory Manager: NexusMM4
11/6/2017 1:21:58 PM OS: Microsoft Windows 10 Enterprise (10.0 Build 15063), 4 CPUs (Quad x64 Model 78 Step 3), code page "Windows-1252", on "NVME SAMSUNG MZFLV256"
11/6/2017 1:21:58 PM Data Path: C:\ProgramData\Paessler\PRTG Network Monitor\
11/6/2017 1:21:58 PM System Path: C:\Program Files (x86)\PRTG Network Monitor\
11/6/2017 1:21:58 PM Local IP: 0.0.0.0
11/6/2017 1:21:58 PM Core Server IP: example-DNS.exampledomain.com
11/6/2017 1:21:58 PM Core Server Port: 23560
11/6/2017 1:21:58 PM SSL Enabled
11/6/2017 1:21:58 PM Probe GID: {AAAA1111-22BB-33CC-DD44-EEEEEE555555}
[...]
```

```

11/6/2017 1:21:58 PM Start Connection
11/6/2017 1:21:58 PM Start Done
11/6/2017 1:21:58 PM (14608):Initializing WMIConnectionPool
11/6/2017 1:21:58 PM (14608):WMIConnectionPool maximum number of concurrent establishings is set to: 20
11/6/2017 1:22:03 PM Connect from to example-DNS.exampledomain.com:23560
11/6/2017 1:22:03 PM TCP connected from 10.49.12.51:55199 to example-DNS.exampledomain.com:23560
11/6/2017 1:22:03 PM State changed to connected (example-DNS.exampledomain.com:23560)
11/6/2017 1:22:03 PM Reconnect
11/6/2017 1:22:04 PM Connected
11/6/2017 1:22:10 PM Send Login
11/6/2017 1:22:10 PM Local: 11/6/2017 1:22:10 PM UTC: 11/6/2017 12:22:10 PM
11/6/2017 1:22:10 PM MarkUnused
11/6/2017 1:22:10 PM Login OK: Welcome to PRTG

```

アクセスキーが正しくない、または IP アドレスの設定が正しくない（ステップ 2 参照）などの理由で接続に失敗した場合は、以下のように表示されます：

```

11/6/2017 1:42:02 PM Try to connect...
11/6/2017 1:42:02 PM Connected to 10.0.2.167:23560
11/6/2017 1:42:07 PM Login NOT OK: Access key not correct!

```

PRTG コアサーバーへの接続設定を調整する必要がある場合は、リモートプローブシステムの [PRTG Administration Tool](#) を使用します。



PRTG Administration Tool のリモートプローブ設定

「プローブのコアサーバー接続設定」で次の設定を編集できます。

- ・ 「サーバー (IPv4 アドレスまたは DNS 名)」: リモートプローブが接続する PRTG コアサーバーの IP アドレスまたはドメインネームシステム (DNS) 名を入力します。ネットワークアドレス変換 (NAT) ルールを使用している場合、リモートプローブはネットワーク外から接続するため、外部から見える IP アドレスを入力する必要があります。
- ・ 「アクセスキー」「アクセスキーの確認」: リモートプローブが PRTG コアサーバーに送信するアクセスキーを入力します。このアクセスキーは、PRTG コアサーバーの「コア & プローブ」設定で定義する必要があります。アクセスキーが一致していることを確認してください。

「保存 & 閉じる」をクリックして設定を確認し、PRTG プローブサービスを (再) 起動します。

- これらの設定の詳細については、「[PRTG Administration Tool](#)」のセクションを参照してください。

参考資料

ナレッジベース

How can I customize ports for core-probe connections used by PRTG?

<https://kb.paessler.com/en/topic/65084>

I cannot open the PRTG web interface via the desktop shortcut anymore. What can I do?

<https://kb.paessler.com/en/topic/89024>

PAESSLER WEBSITE

How to connect PRTG through a firewall in 4 steps

<https://www.paessler.com/support/how-to/firewall>

How to install a PRTG remote probe in 4 steps

<https://www.paessler.com/support/how-to/remote-probe-installation>

免責事項・使用限定事項

ジュピターテクノロジー株式会社（以下当社と略記します）が作成した本ドキュメントに関する免責事項および本ドキュメント使用に関する限定事項は以下の通りです。

本ドキュメントに関する免責事項

本ドキュメントは作成時点においてメーカーより提供された情報および当社での検証結果により作成されたものですが、当社は本ドキュメントの内容に関していかなる保証をするものではありません。万一、内容についての誤りおよび内容に基づいて被った損害が発生した場合でも一切責任を負いかねます。本ドキュメントの内容によりなされた判断による行為で発生したいかなる損害に対しても当社は責任を負いません。

本ドキュメント使用に関する限定事項

別に定める場合を除いて、本ドキュメントの取り扱いは当社より提供を受けたお客様による私的かつ非営利目的での使用に限定されます。お客様は、本ドキュメントについて、変更、コピー、頒布、送信、展示、上映、複製、公開、再許諾、二次的著作物作成、譲渡、販売のいずれも行うことができません。

お問い合わせ

PRTG Network Monitor について、ご不明な点などございましたらお問い合わせください：

ジュピターテクノロジー株式会社（Jupiter Technology Corp.）

住所： 〒183-0023 東京都府中市宮町一丁目 40 番地 KDX 府中ビル 6F

URL： <https://www.jtc-i.co.jp/>

電話番号： 042-358-1250

購入前のお問い合わせ先： <https://www.jtc-i.co.jp/contact/scontact.php>

購入後のお問い合わせ先： <https://www.jtc-i.co.jp/support/customerportal/>

発行日 2023 年 11 月 17 日

修正日 2023 年 12 月 07 日

ジュピターテクノロジー株式会社